



行役場 所副 務東村 印副 北洋印刷株式会

八月のたより

村長 小泉 充

八月も好天に恵れ稲作も順調に生育し平年作以上の出来、と予想されほとんど嬉しい次第です。毎年のことながらお祭りまでの豊作で、いざ鎌立すると、思ったより収量がなかつたか、思つたより話しをよく聞きますが今年こそは、その様な事のない様念じております。この役場たよりが皆様のお手元に届く頃には越路早生の稲刈りの真最中の事と思ひます。ニュースは台風十二号の発生を報じておりますが、ほんとに心配です。真一に備え準備だけは怠りなき様お願い致します。

新産業都市のこと

七月の役場たよりにも申し上げましたが、新潟地区新産業都市のことについて皆様から非常な関心を頂いております。各新聞も毎日の様に新産業都市に関する事を報じて注目をすべき報道は新産業都市に加入する市町村を限りに於て縮少するかの如く書いてあります。其の理由として幾つかの点が指摘されておりますが、例えば指定区域の面積問題も其の一つであり

ます。現在内定を受けた新潟地区二十四市町村では広すぎる、この二十四市町村全部の場合一、五五五キロ平方メートルであり、この面積は神奈川県や、大阪府の一県一府と同広さの面積である。成程そう言われてみれば広いと云う感じはする。それならば今回内定した他の地域はどれ程の面積であるか、北海道の道央地区は四、一九九キロ平方メートルで新潟地区の二、七倍。福島県の常盤郡山地区は三、四二五キロ平方メートルで新潟地区の約二、二七倍。長野県の松本諏訪地区で二、七四六キロ平方メートル、一、七六倍。岡山県の岡山市南地区、四回愛媛県の東予地区、九州宮崎県の日向延岡地区等でも面積に関しては新潟地区とはとんと変わりありません。かく思ふときなぜ新潟地区だけが区域を縮少せねばならないのか、新聞に報道されたばかりの点に對し県当局にその真意を質問してきたのでありますが、八月二十七日にも郡内関係町村の議会議員に對する県の説明会が味方村に

於て開かれました。其の席上県の専川企画課長は其の説明の中で区域問題の他について次の様に言っております。「新聞報道では色々な噂が言われておりますが、知事を始め県としては今迄に区域を縮少する云々と言われておりますが、この様な事はありません。これは新聞の誤解ですので誤解のない様に入力するたい。新産業都市区域に加入するしないは各市町村が自主的に判断し決定すべき事であり、私は今日の説明会に於て判断の材料となるべきことを御説明申上げ、又質問によつて皆様から不明の点を尋ねて頂く為めにやつてまいりました。御承知の様に当初政府の方針は全国に九ヶ所乃至、十ヶ所を指定する方針であったが、結果的には新産業都市として十三ヶ所、合計十九ヶ所となり、其の為に当然考えられる事は予算の配分率が少くなり、目標年次であった昭和四十五年までに二十四市町村全部に効果が及ぶ事は、はっきり言つて不可能でありました。新産業都市に加入すれば負担金は出さなければならぬ、仕事は何もしなかつたで、この様な先行投資に對し皆様が納得出来るかどうか、又この法律は臨海工業を中心として発展するのが主目的であるので農業投資は行なわれな、又事業の推進と共に当然市町村合併も考へてもらわなければならぬ、現在言ひ得る事は昭和四十三年度迄に工業港が出来臨海工業地帯の土地造成八〇〇万坪のうち一〇〇万坪位に工場が進出する事くらいしか考へられませんが、前

に申した通り当初計画より大巾に建設計画が遅れ、この事をお考え頂いても加入市町村全部に事業が出来ない事は明らかであります。今後の方針は加入される市町村と、及び公共機関、学識経験者等によって構成される建設協議会によって基本建設計画が確立されるので、今何処の町村にどの様な道路がつくとか、又各年次ごとの事業計画は何も解つておりません、まったく白紙であります。予算は来年三月頃決定されるのではないかと申上げておりました。以上簡単に申上げましたが新産業都市区域に加入しないの意志表示を八月三十一日まで県に報告して下さい。そして九月十日までに各町村の議会の議決が必要であります。以上の如き説明があり熱心な質疑が行われました。新潟県も将来に涉る大きな案件ですので慎重に、又勇気をもって態度を決したいと思つております。次に新産業都市に関する問題点を申上げます。昨年十月二十二日本村も新潟地区の一員として新産業都市指定運動の一環として議会の議決を致しました。其の時の新潟地区新産業都市建設構想は、区域内人口七十七万三千人、目標年次である昭和四十五年には、各企業の出資により人口一〇〇万人となり、工業出荷額も昭和三十五年には九四八億円であったものが昭和四十五年には、五、八三五億円となり、この目的達成の為に建設事業費が二、四七九億円と云う構想であったのであります。

然し前に申上げた通り全国で工業整備地帯を含めて十九ヶ所となつた為め、政府予算の關係上目標年次の延長が事務的に当然考へられてきたのであります。為に県としては各省の考え方を正し規模の適正化、即ち区域縮少を政治配慮として思考した事も事実であります。よつて十四市町村に對し

- ①昭和四十五年以降まで何等の直接事業の恩恵は期待出来ない
- ②負担金は出さなければならぬ
- ③新産業都市建設促進法の主旨からして農業投資は行なはれない
- ④新しい産業都市を考へておられるから、市町村合併も考慮してもらわなければならない。

以上の点を承知の上、自主的判断によつて加入の可否を決定してもらいたい、と云う事でありました。

現在の時点に立つてこの問題を考えて、新産業都市に加入する事は何等プラス面がない様にも思われますが、将来の新潟村を考へ自らの事業にのみ気をとられ進路をあやまたぬ様、樹木も最初から用材と成り得ぬ事と同様、亦本村の置かれて居る地理的条件、財政事情、基礎産業との関連性、産業構造の改善方向等、其の他に留意を用いて議会にお諮り致し結論を出して頂きたいと思つております。

新産業都市計画、或は新潟県総合開発計画等は決して別のプランでなく一体をなすものであり、この点も皆様から御理解頂きたいと思ひます。

政治は生きており、為めに願望に向つて邁進しなければなりません。今後とも格段の御指導御協力をお願い申し上げます。

(八月二十九日記)

基本選挙人名簿調製について

選挙管理委員会、毎年九月十五日現在より、昭和三十八年六月十六日より村内住所を有する者で昭和三十八年十一月二十日満二十才以上の者の選挙資格を調査して、基本選挙人名簿を調製することになっております。今年も昨年同様各世帯より選挙資格調査票を提出して頂きます。用紙は総代を通じて配付しますので注意書をよく読んで所定の事項を御記入の上お忘れなくご提出下さるようお願い申し上げます。

濁東村選挙管理委員会

敬老会について

来る九月十五日としよりの日に当り本村の満七十才以上のおとしよりを農業会館におまねきをして長く健康にお暮らしを願う意味で

人権擁護委員会の決定についてお知らせ

総務課

昭和三十八年八月一日、濁東村大字横戸遠藤合一氏においては、法律大臣より人権擁護委員の委嘱を受けられましたので、お知らせします。

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及と高揚を図るために置かれてはいるものですが、次の問題でお困りの方は、無料かつ他にもれることは絶対ありませんから安心してお気軽にその自宅へ相談にお出掛け下さい。

私的制裁、人身売買、村八分、強制圧迫、教育を受ける権利の侵犯、酷使虐待、差別待遇、生活権の侵犯、その他お困りの問題。

相続税、贈与税に適用する財産評価基準について

昭和三十八年一月一日以降課税原因の発生する相続税、又は贈与税に適用される財産評価基準のうち、土地、家屋に関する部分のおもなものは次の表のとおりであります。

畑		家屋	
区分	旧対する評価倍率	区分	旧対する評価倍率
自作地	7.300	自作地	3.650
貸付地	3.650	貸付地	3.650
耕作権	3.650	耕作権	3.650

地		家屋	
区分	旧対する評価倍率	区分	旧対する評価倍率
自作地	5.200	住宅	5.500
貸付地	2.600	貸家	5.170
耕作権	2.600	貸宅地	4.400

北陸地方三ヶ月予報 (九、十、十一月)

全般概況 九月は後半に接近又は上陸する台風が二個ある見込みで警戒を要します。十月はうす曇りや曇りの日が多いでしょう。又前半は台風の影響を受けることがあられる見込みです。十一月は大陸の高気圧が例年よりやや発達する傾向があります。

九月概況 月の前半頃まではおおむね天気が良い見込みですが、後半は一時曇雨が多くなり気温の低目となる時期があります。

又この頃台風が接近するおそれがありますので、警戒を要します。月の平均気温は平年並か多少高く、降水量はやや少ない見込みですが、台風の進路によっては、一時的に多くなることも予想されます。

日照は平年並でしょう。

十月概況 移動性高気圧が本邦を北端して通り又前線が本州南岸に停滞する傾向があります。このため曇りや曇りの日が多い見込みです。台風は前半に影響するものが一個あり、月の平均気温は平年並、降水量はやや少なく又日照は平年並の見込みです。

人事往來

昇格 主事 福島 允(主事補)

固定資産の評価替えについて

税務課

昭和三十九年度より実施される固定資産の評価替えのうち特に農地について、最近(八月十七日)の新聞紙上にいろいろと取り上げられ、その記事内容をめぐって誤解を生じている向きもあるようですが、このことについては、県庁に照会した結果「閣議において農地の再評価を取り止めた」という報道は誤りであり、その実施に当たっては増税にはならないように税負担の調整等について慎重に検討しなければならぬ」としていることと、評価替えの実施については従来の方針と変わりはないとの指示がありました。従いまして、本村としても評価替えは予定通り来年度から実施されるものと考え、目下作業を取り進めているわけですが、実態調査等諸般の準備は今年中に完了しなければならず、短期間にしかもこのむずかしい評価を適正確実に期するため、當課の何分の御協力をお願い申し上げます。

完納で築く住み良い我が郷土
納税は心一つでできるもの

三歳児検診を終つて

この近年、三才児の一斉検診といふことが乳児検診と並び強張されるようになってきました。このことの意味は、どんな所にあるのか述べてみたいと思ひます。

昔から「三才子の魂百まで」といわれておりましたが、その人の一生につきまとう基本的性格といふものは、満三才までに殆んど出来上つてしまふのです。満一才までの乳児期では、毎月の健康相談にもよく足を運び、母子手帳に記入される発育値の大小に一喜一憂し、離乳指導なども熱心に聞き入っていたお母さん方も、その子がはや「一才を過ぎると一応安心するせいか、いたずら盛りで好

住宅統計調査について

今年の十月一日に全国的な住宅統計調査が行なわれます。

この調査は、住宅建設五ヶ年計画、公営住宅建設三ヶ年計画、地域別住宅整備計画、あるいは公団住宅、公社住宅の建設、公庫の融資など住宅関係のいろいろな施策を立案したり、実施したりするために必要となる統計資料を得るために行なわれるものです。

現在わが国にはおよそ二千万戸の住宅があり、毎年約七十万戸の住宅が新しく建てられています。戦後十八年の間に新しく建てられた住宅の数は約九〇〇万戸で、そのうち三〇〇万戸が公営住宅、公団住宅あるいは公庫の融資による住宅など政府の施策によって建てられたものです。

このように新しい住宅が建てられていますが、わが国の住宅事情は、「住宅に関する限りまだ戦後は終わっていない」といふいわれ、国民生活の衣食の向上に比べて住の部門の立ち遅れが問題になっております。

ひとくちに住宅難といつても「結婚したいが住宅がない」とか「住宅がないので仮小屋のようなところに住んでいる」といふような住宅の量の不足の問題「住宅が狭い」とか「設備が悪い」といふような住宅の質の問題などその内容はいろいろあります。また地域によつて問題のあり方が違つております。住宅関係の施策はもろもろこのような状況に適應したもので

のバランスのとれた策とということが一番大切になるわけですが、又、頭さえ良ければ成功すると思ひ勝ちですが、算数や読み書きがいくら出来ても我慢の出来ない子、注意の散漫な子、独立心のない子、人とのけんかをする子、協同作業の出来ない子等は将来社会に出て成功しません。

よくお父さん似とか、お母さん似とか言つて性質は皆先祖からの遺伝と考へられ勝ちですが、それではありませぬ。満三才頃までの家庭環境、特に、お母さんの態度や家の中の雰囲気、お母さんの性格を作りあげるのだと言われております。ですから、小学校で算数や国語に良い点を採ることがより三、四才頃のしつけの方がより大切だといふことができます。

今回の三才児検診も身体の発育状態よりも、むしろ精神面の発育状態を重視して行なうました。

- ①食事を一人で出来ること
- ②排泄、排便を出来ること
- ③自分の名前が言えること
- ④自分の年齢がわかって居ること
- ⑤簡単な会話が出来ること
- ⑥絵本の絵がわかること
- ⑦手指の機能(指を一本、二本と出したり、親指と人差し指でつまむなど)を作ることが出来ること
- ⑧簡単な三才児であれば、ことばはもう何でも言えるのですが、母親から離れて面接を受けた場合にすつかりおどろいてしまひ、家人とは割と活発に会話をする子が一言も口をきかずに終つたという例は、社交性の訓練が必要とされていなかったといふことにな

昭和三十八年度産米穀売渡予約申込数量について

農協名	予定数量(俵)	予込約数(俵)	申量(俵)
四ヶ合農協	117.300	76.591	
大原農協		40.741	
計	117.300	117.332	

数量は左表のとおりです。

小林保雄

ママと赤ちゃんのすれ

毎月の育児相談や今回の赤ちゃんコンテストで感じたことを二、三あげてみます。きつとお心あたりのお母さん、居られることと思いません。「ミルク嫌い」生まれればかりの赤ちゃんは、吸陰反射といつて口に入れられるものは何でも吸いつける本能をもっています。ですからミルクの濃さや調合の仕方についてもお母さんが作ってくれたものを無条件で飲んでしまいますが、三カ月ぐらいいから赤ちゃん独自の好みが出てきて、注文がやかましくなります。お母さんが苦心してつくったミルクもよるこんで飲まないことが多くなります。これがミルク嫌い、これも夏に多くみられる現象です。赤ちゃん側の注文としては、ミルクの濃すぎる場合が多くお母さんとしては、早く赤ちゃんの好みを察して、適当な濃さと適当な量を発見することです。こじに夏には汗が多く水分を十分に与えます。また夏には暑さや汗などで多くのビタミン類やミネラルが失われやすいため、これも十分に補つておきかけませんから、のどがかわいてお茶がほしいなと思つている時にお母さんが濃いミルクをもつてお母さん、これは赤ちゃんにとってお母さんの察しの悪さを示すことにしかありませんし、そのときミルクがいかにもすずいかは想像に難くありません。このような

消化不良症

更には大人でも消化力がよわつて夏やせする人がありますが、赤ちゃんも夏には下痢しやすくなります。とくに、生まれて二〜三カ月までの下痢は取りにすることがあります。その点では母乳は実在にありますが、母乳をのんでいる赤ちゃんでは重症の下痢になることは殆どありません。しかしミルクで育てている赤ちゃんの場合、便の回数がふえたり、緑色になったときにはすぐに治療しておく必要があります。母乳ですとその中にバイ菌がまじりこんでいることはほとんど考えられません。この場合、中には消毒の不完全などからバイ菌が混入しやすく、重症の下痢に進展することが多いからです。ミルクを作る時の消毒には十分に気を付けて下さい。一方では夏には消化力のおとろえないように、つとめて赤ちゃんを涼しく育てなければなりません。又離乳期になりますと、新しい

食物がふえてきますが、このときにも下痢症がふえてきます。離乳期の下痢症はいままで母乳をのんでいた赤ちゃんに多く、こんな時にかえってお母さんがあやめて母乳だけに何回も母乳を与えることにあります。むしろ早く母乳を止めていた方が早くお母さんです。母乳はどうしても与える時間が不規則になりやすくて、離乳期ではこのことが赤ちゃんの消化力を弱くし、抵抗力を下げるのです。

それは一言加えさせていたきたいのは、三才児知能テストに於いて検査室へお母さんと一緒に連れて行かれない子供とお母さんが側に居なければ談話が出来ない子供はそれだけで失格、いくら教が深山敷えられても、絵本がわかって三才児の知能程度としてはみとめられません。それだけに三才児頃の自立心というものが必要視されておるのであります。いつまでも親に頼つて甘え切っている子供は将来しっかりした人間性格はもてないのではありませんかと思えます。真の愛情はもつときがびしり深いこと、親の感情だけで子供を育てることの恐ろしさ、子供の不幸をもつこともとて考えて下さい。今回欄内にも立派な保育所が出来ました。一見親の手もとから子供を離す不安もあつて、ところがここが母親の考えるところで、大いに保育所の社会生活をさせてあげて下さい。遊びの中でこそ子供はほんとうの教育と智慧を学びとるのであります。

中川

静岡県秋冬期農業労働者の募集案内

(昭和三十八年度)

次の募集案内でおでかけ下さい。
来ていただく方
現在、農業に従事している満十八才から四十五才までの方
第一種 秋季
黄金 稲穂の収穫、麦まき、蔬菜

作業
日給(住込食事つき)
男子 六五〇円
女子 五五〇円

第二種 米かん採取、いちご温室等
日給(住込食事つき)
男子 六〇〇円
女子 五〇〇円

冬季(住込食事つき)
男子 一三、〇〇〇円
女子 一〇、〇〇〇円

その他の加給、右の賃金の外に
○時間外に働いた場合は一時間につき七十五円をさしあげます

○求人農家が前に来ていただいた場合は経験加給として秋季雇用期間中に限り一ヶ月につき五〇〇円をさしあげます

働く時間
おおむね午前七時から午後五時までの実働九時間です

公休日
稼働日数十四日について一日の公休日とし、この日は有給です(月一回)

旅費
雇用期間を満了した方にはバス賃汽車賃の二等往復実費を帰郷の際にさしあげます。但し、雇用期間なかばに達しないで自己の都合で帰る方には旅費は出しません。

雇用期間なかば以上で自己の都合で帰る方には片道旅費をさしあげます。

作業中の傷病費の補償

労災保険又は静岡県農業季節労働者共済規定により補償します(働く期間)
秋季 昭和三十八年十月中旬から十二月末日まで
冬季 昭和三十九年一月から三月末日まで
旅行、表彰など
各地方毎に慰安会、旅行、優良な方の表彰があります。
赴任の注意
○作業衣、地下足袋、日用品、印鑑及び「国民健康保険者証」をおいでになる方は村役場又は公共職業安定所にお申出下さい。
なお昨年湯東村で男女合せて四十二名行きました。郡内でも一番多かったのが本年も都合できる方はなるべく行って下さい。昨年の方は皆真面目に働いて大変褒められました。働いた先で今年もよい印象を与えようお願いします。
湯東村農業労働力調整協議会

新潟県警察官募集
受付期間 九月二日から九月二十五日まで
採用予定人員 約〇〇〇名
第一次試験 (第一日曜日) 九月六日
試験地 新潟市、両津市、高田市、長岡市
新潟県警察本務署
新潟又は県下各警察署 派出所 在 所
あとかぎ
朝夕の涼しさも一段と増し、猫の手もかりたい忙しな収穫シーズンを迎え、あわてて台風シーズンです。お互いに防犯、防火につとめましょう。